

地方豪族と巨大古墳

東北・九州そして日本海最大の古墳を訪ねる

定員・回数：60人・3回

時間・場所：午前 10:00～11:30・研修室

費用：受講料 600円

講師：NPO 法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク 理事長
名古屋経済大学 特任教授 赤塚次郎

古代日本には各地に多様な文化と伝統が存在していました。今回は、特徴的な3つの興味深い地域、九州・東北・日本海の巨大前方後円墳とその風景を求めて旅をします。

6/17(土)	<p>古代タニ八國 - 丹後半島の巨大古墳 -</p> <p>北近畿地域の古墳時代を代表する「タニ八」の國。京都府京丹後市を中心として、そこに存在する日本海に面する巨大古墳「網野茶臼山古墳」や「神明山古墳」などを取り上げ、興味深い丹後地域の古代を旅します。</p>
7/22(土)	<p>タカノ湊 - 仙台平野の巨大古墳と謎の前方後方墳群 -</p> <p>東北地域最大の前方後円墳「雷神山古墳」、そして前方後方墳が集中する「飯野坂古墳群」など宮城県名取市周辺の遺跡。さらにそこは、ヤマトタケル伝承地「竹水門（たかのみなど）」。さてその風景に溶け込む古墳文化とは。</p>
8/19(土)	<p>古代ヒムカ國 - 宮崎平野の巨大古墳群 -</p> <p>九州島最大の前方後円墳「女狭穂塚（めさほづか）」「男狭穂塚（おさほづか）」、宮崎県西都市西都原古墳群。また宮崎市生目古墳群（いきめこぶんぐん）など、興味深い日向國の風土と古代を旅します。</p>